

今後の検討のあり方について

平成 25 年 5 月 22 日

内 閣 府

共助社会づくり懇談会において、これまで多岐に渡る論点が指摘されてきたが、今後検討を深めて行く上で短期的な課題と中長期的な課題に整理して議論すべきとの指摘があった。

こうした指摘を踏まえ、一定の整理を試みるならば、多様な主体が参加していることに留意しつつ、人材面の課題、資金面の課題、信頼性の向上、といった大きく3つの課題に分類することができるのではないかと。

今後、各課題ごとに当面重点的に取り組むテーマを定め、ワーキング・グループ（WG）を設け、対応策を検討していくこととしてはどうか。

その際、WGでの議論は総花的とならないよう留意し、個別のテーマごとに施策のあり方を具体化することを目的とし、議論することとしてはどうか。

各課題について、WGを設置する場合に考えられるテーマについて、これまでの議論を踏まえ、以下のような例が考えられるのではないかと。

【人材についてのWG】

- スペシャリスト型中間支援の育成
- マネジメント・コーディネート人材の育成
- 企業とNPO等との人材交流の促進

等

【資金についてのWG】

- 寄附の拡大
- 市民ファンドの育成
- NPO等向け融資の拡大

等

【信頼性の向上】

- NPO法人会計基準の普及・改善
- NPO等の相互認証の仕組み
- NPO等の事業評価手法の開発

等